

台湾⑨ ● 世界一の台湾リトルリーグ

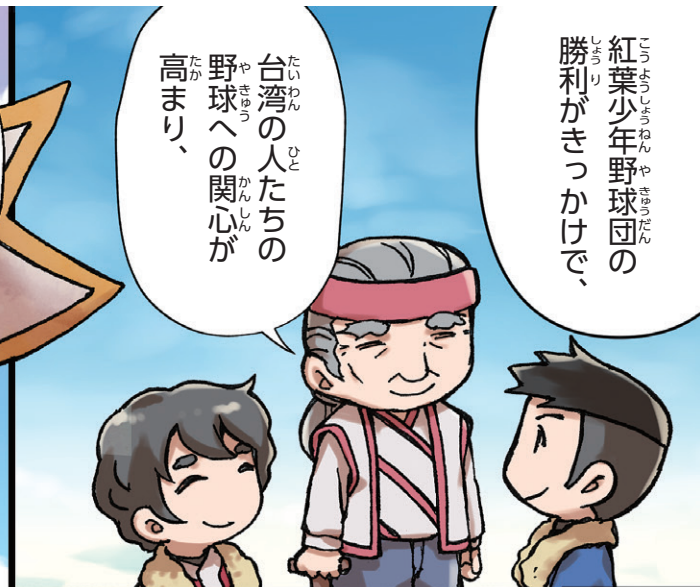
「紅葉少年野球団」の勝利をきっかけに台湾では少年野球がブームとなり、翌年の1969年には、台湾代表の「中華民国台中金龍隊」がリトルリーグ・ワールドシリーズの決勝戦に出場し、世界チャンピオンに輝くと、野球人気ますます盛り上がりました。この試合でエースとして登板していたのが、日本プロ野球、中日ドラゴンズで投手として活躍した郭源治選手です。

■制作協力：台北駐日経済文化代表処／マンガA士（エイス）

産経 子ども ニュース 育て！子どもたち
クイズの正解者全員に
素敵なプレゼント！

12回連続で掲載される「台湾シリーズ」のクイズに応募してくれた正解者の皆さん全員に、毎回すてきなプレゼントを差し上げます。
12回、全問正解者には抽選で特別賞をプレゼント!!
QRコードかホームページからアクセスしてね!
<http://www.sankeikids.com>

台湾シリーズは下記のホームページで見られます。
台北駐日経済文化代表処
http://www.roc-taiwan.org/jp_ja/post/32004.html



紅葉少年野球団の勝利がきっかけで、台湾の人たちの野球への関心が高まり、



翌1969年、リトルリーグ・ワールドシリーズ決勝戦で
米国ペンシルベニア州
サウス・ウィリアムズポート
Howard J. Lamade Stadium



「中華民国台中金龍隊」は、



リトルリーグのエース郭源治選手らの活躍で、

世界チャンピオンになったのじゃ。

アミ族の郭さん、凄かったな。



台湾の『少年野球』ブームはますます盛り上がり、

その後の試合は一般の人々から総統（元首）まで徹夜で観戦した。

1971年には台湾代表チームの「巨人隊」がリトルリーグで優勝した。



それから2018年までの間に、

台湾の少年たちはリトルリーグで17回優勝、

準優勝3回という輝かしい成績を修めてきているんだ。

日本は11回優勝して二番手だね。

台湾クイズ⑨

台湾のリトルリーグチームが2018年までに優勝した回数は？

- A ① 1回 ② 10回 ③ 17回

応募してくれた正解者全員にすてきなグッズをプレゼント！

応募まっています。

さらに全12問正解者には抽選で10名に図書カード3,000円をプレゼント！

